

市政を問う

一般質問(要旨)



公明党
西畑 春政

後も事業内容を見直し、市民に理解が得られるよう努力していきます。

公教育について

奈良県では、全国に先駆けて青色防犯灯を導入し、香芝市の逢阪自治会(502基)をはじめ、20市町村に46か所1744基が設置され、その地域では3倍以上の抑止効果が現れている。本市でも設置を求めます。

総務部長 都内では、荒川区が警察署と共同で駐輪場や駐車場に試行的に設置しましたので今後、青色防犯灯の効果等を調査してみたいと考えています。

職員の互助会について

自治体職員の福利厚生は大切なことですが、職員互助会への公費支出に関しては、市民の納得が得られるようになければならない。会員が支払う掛け金の数倍の公費が支出されていることが問題となった。本市の現状を伺います。



公明党
久世 清美

放課後の居場所づくりについて

小学校を利用し、地域の方々の協力も得て、子どもたちが安心して楽しく過ごせる放課後の居場所づくりが進み、様々な自治体が工夫をこらしている。何度か、提案や質問をしているが、本市でのその後の取り組みについて伺う。

子育て支援のための医療費助成制度について

東京都では子育て支援のため、新しい施策として義務教育就学期にある児童の治療に要する医療費の一部を助成することを決めた。子育て世代にとって乳幼児・児童に対する医療費助成はとても助かる。今後の本市の取り組みを伺う。

校庭の芝生化について

東京都では、今後10年間で公立小・中学校の屋外運動場を緑化していくことを決める。東京都が、芝生化にかかる経費のすべてを対象に、その2分の1を補助するとしている。このことに対する本市の考えを伺う。

学校教育部長 学校により条件は異なりますが、授業や校庭開放等に影響がないようにすることが課題であり、地域との協働による維持管理の方法や芝生化する場所などを含め、学校と相談しながら取り組んでいきたいと思っております。

平成19年度の一般会計予算について

基本的な行政サービスの維持、施設の老朽化や耐震対策、少子高齢化に対応するため、市財政は厳しい状況が続く。そこで、市民協働、民間活用の活用、行政の透明化、効率化や質を高める今後の取り組みについて伺いたい。

市長 今後は、ソフト事業に重点が置かれるようになると考えています。もう一方においては、公共施設の耐震化や大規模改修の時期を迎えてますので、行財政計画の中でしっかりと計画化をし、進めることが重要だと考えています。

行財政改革と今後の取り組みについて

職員定数削減と行政機構のあり方、政策立案や行政評価システムの確立、公会計制度導入等は今後の課題である。削減やスクラップ&ビルドという考えから、新たな市政を確立する改革に移行すべきと思うが見解を伺いたい。



公明党
金子 征夫

現有施設の活用第一に旧九小のあり方を問う

旧九小については、現有施設の活用を第一に検討委員会の検討経過を踏まえ、地域住民の意識を尊重すべきである。5年間の暫定活用後の対応については、専門的な建物調査を行い、適切な検討を行うべきと思うが見解を伺いたい。

教育長 今後、継続して旧九小を使用していくためには、耐震改修工事を初め相当の予算をつぎ込まなければなりません。そうすることがいいのかどうか、調査し、再検討して、結論が出るようにしたいと考えています。

雨水管理について

今まで何度となく雨水計画の話を見せていただいておりますが、本格的な方針が明示されても良い時期に来ていると思えますが、考え方を明らかにしてほしいと思えます。

建設部長 来年度には、これまでの雨水計画を現状に合った計画に見直しを開始して、関係機関と相談しながら、雨水整備に取りかかりたいと考えています。

市役所通りや旭が丘通りの整備について

周辺に家が建つて、だんだん整備困難な状況が生れつつあります。特に旭が丘通りは都市計画道路の優先整備路線となっており、市役所通りも併せ、今後どのように整備計画を進めていくのか伺います。



公明党
長谷川 正美

いじめ防止対策の緊急申し入れについて

公明党清瀬市議団は去る11月2日に全国で広がっている、いじめの発生、自殺の広がりなどを大きな問題と受け止め緊急の申し入れを行ったが、実態調査や対策委員会の設置等について考え方を述べていただきたい。

学校教育部長 実態調査の実施は11月に本市で取り組みましたが、今後の状況を把握しながら、定期的に実施していきます。

発達支援センター(仮称)の建設と運営について

発達支援センター(仮称)を平成20年度に建設、開設する計画が発表された。子育て支援に大きな影響を持つだけに市民の関心も大変高い。建設計画、事業内容、運営方法と乳幼児健診後の支援会議のあり方等、お伺いします。



公明党
浅野 和雄

セカンドスクールの導入について

本市の小学5・6年生を対象としたアンケート調査では、88%の子供も達が普段出来ないような体験を望んでいる。学校を離れた場所でも、様々な自然体験、宿泊体験、共同生活体験等を行うセカンドスクールの実施を要望し、所見を伺います。

建設部長 秋津駅周辺整備調査報告書が作成されて10年が経とうとしています。この間、細かい動きはあったものの、駅周辺は未整備のままであり、この報告書の今後の取り扱いについて伺います。



生活者ネットワーク
ト・民主党
齊藤 実

秋津駅周辺整備について

「街づくりの方針・秋津駅周辺整備調査報告書」が作成されて10年が経とうとしています。この間、細かい動きはあったものの、駅周辺は未整備のままであり、この報告書の今後の取り扱いについて伺います。

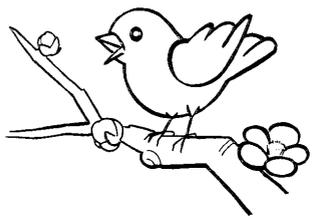
災害時に自転車の活用を検討できないか

災害発生時の避難所間の連絡や、地域の被害状況の把握など、人手による情報伝達は重要なものだと思います。道路の渋滞時など、車より

建設部長 秋津駅周辺整備調査報告書を策定した当時の状況も変化していますので、今後更に個別案件などにも状況等を勘案して対応していきたいように努めたいと考えていますので、ご理解いただきたいと思います。

清富士交差点の安全対策について

横断歩道を渡りきった所に



小回りが効く自転車の活用は有効だと思いが、現在の保有台数と今後の方針を伺います。総務部長 災害時の自転車の活用につきましては、建物の倒壊などで車が通行できない場合等が想定されますので、そうした場合に市内の連絡用の足として有効になってくるのではないかと考えています。自転車の保有台数は30台です。

清瀬市の文化財について

先日開催された「うちおり展」は私が提案している「昔の記憶を思い出し、脳を活性化させる、回想法」にも大変有意義な企画だと思います。これらの常設化や、過去の好評だった企画などの再展示を検討できないか伺います。生涯学習部長 好評をいただきました山下清展や渡辺うめ展につきましては、再度企画展を実施しています。好評をいただきました企画展につきましては、これからも開催時期や展示内容を検討する中で実施したいと考えています。



生活者ネット・民主党 原まさ子

「お弁当の日」で食育の実践を求める

学校で出来る食育実践に、家庭科のある小学校5・6年生に、一学期をかけて技術と知識を指導し、献立・食材の購入・調理・盛り付けのすべてを子どもたちの手で行う「お弁当の日」を実施し、自立を促す機会としてはいかがか。学校教育課 給食をお弁

当にする取り組みは、八小で保護者のご理解をいただく中で年2回実施しています。次年度作成する学校における食育推進計画の中に取り入れていければと考えています。

子どものオンブズパーソン 制度の設置が必要

いじめや虐待、自殺など子どもたちに関係する悲しい報道が続いている。子どもの安心して生きる権利が侵害されている実状だ。「生きていくのが苦しくなる、誰にも相談できない」という子どもの声に答える制度の実施を求めます。教育長 オンブズパーソン制度も一つの方法と考えますが、どうやって子どもの声や叫びを拾っていくのか、具体的に緊急に何がしやすいのか、そこが今一番問われているところで、今ホットラインをつくらなければならない。

安心して暮らすために「保健・医療計画」の策定を

少子・高齢社会の進展や慢性疾患の増加などで保健・医療をめぐる環境が変化し、医療、介護保険の改正で予防重視と病院や施設から在宅へと変わった。市民ニーズに応え長期的な施策展開のためのプラン策定が必要だ。健康福祉部参事 保健医療計画については、当面の課題である平成19年度の特健診に係る実施計画の策定を行い、この計画の考え方や他の計画等を勘案した中で、どうあるべきかを考えていきたいと思っています。



清瀬市民会議 長野美保子

療育センター建設のスケジュール等について

今日まで、竹丘学園の抱える問題を一日も早く解消し、多くの市民が知り得る施設となるように望んできた。新たな施設建設のスケジュールと近隣の子どもたちが集える場所の確保を考え、児童館併設を考えてはどうか。健康福祉部長 19年度中に基本設計、実施設計と進め、20年度には建設工事へと考えています。センターは障害児にかかわる人たちだけが利用するというのはなく、より多くの市民に向け開かれていくことが基本だと考えています。

清瀬市役所前のバス停と周辺のバリアフリー化を

多くの障がい者が行きかう市役所周辺の福祉化は、障がい者団体から長年にわたり要望されている。特に、バス停2か所ともに車椅子利用者には、使えない現状がある。道路も含めて早期の改善を求めます。建設部長 清小側のバス停を改良するには、正門までの間に歩道が必要となりますので、現状では難しいと考えています。なお、市役所側の改修も一体で実施する必要がありますので、関係部署と相談してみたいと考えています。

いじめ問題とホットラインについて

市教委は今までの質疑にお

いて、いじめ問題は28件が解決済み、4件が指導中であると回答した。丁寧な解決を希望する。また、ホットラインを12月1日から設置したが、子どもたちへの周知をどのようにしたか。学校教育課 12月1日から設置したホットラインの周知は、11月30日に学校を通してホットライン開設のお知らせを、全児童・生徒へ配布しました。学校では、ポスターを掲示しています。



清瀬21の会 市川としお

米国のシティ・マネジャー（市支配人）制度

今回、アメリカ西海岸4市の行政視察を行いました。市議会議員のボランティア精神溢れる強力なリーダーシップと公共経営のプロであるシティ・マネジャーによる自主独立心に富む市政運営に感心しました。ご所見を伺う。市長 アメリカのシステムと憲法、地方自治法によって全国一律に自治体の形態が定められている日本のシステムは全く異なるものなので、どちらがすぐれているかを論じることは難しいことではないかという思いがしました。

市職員給与の水準について

都の資料で比較すれば、市職員給与は、市内最高水準と言っても良い。そして、それは、東京都に準拠していると伺うが、これは完全に一致していることではなく、設計思想

の反映にすぎないとも聞く。本市の水準について伺う。総務部長 給料表ですとか職員手当てにつきましては、東京都とは異なるそれぞれ独自の給料表である市が多いため、独自の表を使っている市と清瀬市を比較すると、他市の方がまだまだ高い状況にあると言えらると思います。

ケヤキ・ロードギャラリの落書きについて

ここは、本市の誇るべき文化的財産です。ロータリークラブでは、市内一斉清掃に合わせ清掃と同時に鑑賞しています。また、いたずらが無いこともすばらしいことでした。が、今回落書きを見つけた残念に思いました。対策を伺う。生涯学習部長 落書きは、何年かに1回起こるといった程度で大きな被害には至っていません。今後も定期的に点検を行うなどしまして、彫刻を大事にしていきたいと思っています。



清瀬自民クラブ 渋谷のぶゆき

今後の清瀬ブランドの農産物振興について

葉つきサラダ大根、清瀬のニンジンを使った焼酎等、清瀬ブランドについての活発な動きがあります。また清瀬のニンジンを使ったジュースをつくることのできないかとの声があります。今後の清瀬のブランドについて伺います。市民生活部長 葉つきサラダ大根は大手市場や西友等に出荷し大変な反響を得ています。

人參焼酎づくりを19年の6月を目途に準備しています。ニンジンジュースは今後関係者の声を聞く中で研究をさせていただきます。と思っています。

事情のある若者の就労支援について

少年院を出所してきた若者は、敬遠され就労しにくい状況にあります。再び過ちを犯さないよう、社会全体で支援していくべきだと思えます。ハローワークと連携し、保護司の方々と意見交換し、就労支援を検討してほしい。市民生活部長 三鷹ハローワークでは、保護監察所から依頼があれば専門援助部門が個別の就労支援をしております。話がなければ一般と同様になります。市では、月2回の就労相談等を行っていますので利用いただければと思います。

いじめ発見に向けての取り組みについて

最近、いじめによる自殺が相次ぎ、非常に悲しく残念に思います。いじめは発見が難しくなっています。小さな兆候でも見逃さず、早期発見をしてお知らせしたいと思います。市のいじめ発見に向けての取り組みを伺います。学校教育課参事 本市のいじめの発見の取り組みは、学校、家庭、地域と三つの観点でチェックポイントを示して行っています。今後、これらの取り組みをさらに充実していきます。



清瀬自民クラブ 田中長夫

中里地域市民センターの概要について

中里地域市民センターの完成時期とオープンについて、「柳瀬川回廊」に含まれることから、草花や昆虫のコーナーや清瀬のすばらしさを紹介するなどしたり、休憩所を設け活用するなどしていただきたい。概要について伺います。企画部長 現時点では、完成は19年3月、オープンは5月を予定しています。インフォメーションコーナーは柳瀬川回廊の魅力をアピールするコーナーになります。また、ロビーはコース散策者の休憩場所としてご利用いただけます。

土日だけでも下宿サッカー場にバスの乗り入れを

内山運動公園内の人工芝サッカー場は、土日には来場者が増え、駐車場が足りなくなります。そのために旭が丘行き路線バスを延長できないか。また、コミュニティバス1台を清瀬駅から土日だけでも運行させることはできないか。総務部長 周辺環境も少しずつ変わってきていますので、引き続き西武バスの方へ要望していきたいと思っています。コミュニティバスの運行については、認可が必要であることや経費もかかりますので検討させていただきます。

高齢者への「声かけ・見守り事業」の充実を

ひとり暮らし高齢者への



「声かけ・見守り事業」は、地域社会の再生にとって大切です。地域社会の中で、「お互いに助け合い、支えあう」ことが地域自治の基本です。ふれあい協力員、ふれあい協力機関の現況等を伺います。健康福祉部長 市内を4ブロック46地区に分け、1地区民生委員1人、ふれあい協力委員2人の約100人体制を目標に、ふれあい協力員への参加をお願いしています。声かけ・見守り事業の充実拡大に努めていきたいと考えています。



清瀬自民クラブ 友野ひろ子

一斉学力テストの結果と学力向上について

今回行われた小5・中2の一斉学力テストの結果は学力低下を示している。特に中2は大幅に下がった。「ゆとり教育」が見直されることになり、今後は学校側の充実したカリキュラム・指導体制の確立が重要と思うが所見を伺う。学校教育課参事 本年度は授業改善プランの改定、学力向上推進校を指定するなど、学力向上を図ってきました。19年度からは学力向上アクションプランを立ち上げ、定着度調査、学習習慣を高める体制づくりなどを検討しています。

子ども家庭支援センターの拡大について

国も清瀬市も女性が安心して子どもを産み育てることが出来る社会の構築を最重要優先課題としている。今、児童センター・竹丘・元町と3か

ていきます。予算編成の過程の中で、必要なものは、取り組んでいきたいと思っております。

子ども医療費は
中学校卒業まで無料化を

子ども医療費の無料化を求める声は広がっています。日本共産党は中学校卒業まで、無料化することを求めます。そのためにも、都に財政措置を働きかけること、市単独でも重要課題として、ふみ出すことを求めます。

市長 医療費の助成は、大変厳しい財政状況の中から、3歳未満児までようやくきたということが実態だと思います。中学生までの医療費の助成制度は、都に財政支援を要請していかねば難しいというのが、本市の実態です。

学校給食へ
地元産野菜の活用を

学校給食への地元産野菜の活用は「食育」にも望ましいことです。野菜の産地という好条件を活かし、量と種類を拡大して、年間の確保が出来るように、農業団体に協力を呼びかけて、産地にふさわしい学校給食を求めます。

学校教育部長 小・中学校9校が地元産野菜を使用しています。今後も農家、農業団体等の意見を聞きながら、全校実施を目指して、量、種類を拡大して地元産野菜の活用を推進し、学校給食の充実と食育指導に取り組んでいきます。



日本共産党
金丸 一孝

石原都知事の超豪華海外
視察や私物化への見解は

マン島オートレース見物や夫人の旅費など都の公費支出規定を超えた都知事の豪華海外視察が問題になっている。また四男を都の事業に関わらせている。都知事として身を都の事業に関わらせることは都政の私物化につながる。市長 私は四男の方が芸術家としてどういう活動をしているのかというのは全くわかりませんので、高い評価をいただいている方であれば、必要なことではないか、その辺がよくわかりませんから是非を言える立場ではありません。



日本共産党
佐々木あつ子

「障害者控除」の有効活用
で高齢者に税の軽減を

増税は高齢者を直撃し、国税などの負担も大変です。介護認定者であれば、申請できる住民税の「障害者控除」を有効活用し、高齢者の税負担を軽減する必要があります。介護認定者に通知を徹底することを求めます。

健康福祉部長 障害者控除の対象者への周知は、市報きよせやホームページでお知らせしていますが、今後、各個人あてに通知して要介護認定結果通知書のチラシでの対応について検討し、周知できるように準備したいと思えます。

介護支援の取り上げを
やめさせサービスの充実を
改正介護保険法は、新たな問題として、要支援者から介護ベッドやヘルプサービスなどが取り上げられ、介護サービスが後退し、生活に支障を

団塊の世代対策は
仲間作りや居場所づくりを
07年問題―団塊の世代の生

活や健康への不安は増えている。ニーズ調査と受け入れ体制の構築、不安解消に着手すべきだ。特に協働課を軸にネットワーク化を図り、知的財産の活用や仲間づくりや居場所づくりも進めるべきだ。

をきたしています。

介護ベッドを継続利用できるように市の対応策を求めます。健康福祉部長 現在国は軽度者で給付対象外となった方に対する介護ベッドの例外措置について調査中です。これは車いすと同様に、例外措置の検討を図るための調査と思われまます。国の検討状況を注視していきたくと考えています。

柳瀬川通りの下戸バス停の
改善を

柳瀬川通りの下戸バス停は、バスの乗降スペースもなく危険との声が絶えません。対応策としては、歩道設置や土地の買収などが考えられますが、当面バス停の移設なども含め検討すべきです。

市の対応策を求めます。総務部長 下戸バス停につきましては、別の場所の候補地については関係地主さん、あるいは西武バスとも協議し、検討していきたく考えています。



日本共産党
宇野かつまる

いじめ問題の根本は
詰め込みと学力競争にある

子どもたちに学力競争をおおらず、子どもの個性を伸ばしながら教育できる環境が必要とす。また、先生たちへの管理強化をやめ、子どもたちと接する時間を多くし、問題が起きたら先生方が協力し合っ

て対応できるように求める。学校教育部参事 学級担任が中心になって指導している体制から、教職員全体が子ども

たちの担任であるという認識で、組織的に対応するよう再度徹底させたところです。いじめに対するアンテナを高くして取り組んでいきます。

旧九小跡地は市民が利用
できる施設にすべきです

旭が丘の清明小学校に隣接する旧第九小学校跡地は、地域アンケートでも長期的な活用を希望する声が圧倒的に多い。児童館、高齢者用施設、多目的ホールなどの要望が多く、市民参加でどう活用するか検討を始めるよう求める。

市長 これから庁内にも再度検討をさせまして、関係機関の皆様や、あるいは市民の皆様のご意見をお聞きする機会をつくりまして、将来どうあるべきかについての方向性を見出ししていきたいと思っております。

柳瀬川通りなど抜本的な
交通安全対策を求める

柳瀬川通りや旭が丘通りは猛スピードで通過する車両が増大し重大事故が起きる心配が強い。大型車の通行規制や旭が丘団地のようにハンパ（こぶ）や障害物の設置で物理的に通過車両の通行やスピードの制限を実施すべきです。

総務部長 一方通行や大型車規制などの規制は大変有効になります。これには関係住民の方にも車利用の制限が出てきますので地域の方や警察署とも協議しながら対応をする必要があると考えています。



日本共産党
山崎 真

北部医療センターでは
小児医療は確保できるか

都は、今年7月、多摩北部医療センターを経営する保健医療公社の民営化を示しました。効率性が追求されることにより、非採算部門の切り捨てが心配されます。継続して非採算の小児医療が確保できるか、市長の答弁を求めます。

市長 多摩北部医療センターに役割を果たしていただくため東京都と協議を進めてきています。方向性が固まってきたので、私もは、さらに二次医療圏の中で医療体制を高めていかねばいけないと思っております。

木造住宅、マンションの
耐震改修への助成を

マンションの耐震診断に対して、市の独自助成を条件に都が助成を実施するため、市内では利用できません。木造住宅の耐震改修の助成は、重要課題と答弁がりましたが、新年度から木造・非木造住宅の耐震改修の助成を求めます。

総務部長 建築物の耐震化は重要な課題だということは十分認識していますので、木造住宅やマンションの耐震診断助成制度につきまして、引き続き検討をしていきたいと考えています。

ストロップ地球温暖化
きよせ大作戦の実施を
練馬区では、昨年小学6年生を対象に、温暖化防止の取

り組みを実施しました。二酸化炭素の削減のために身の回りの生活を見直しました。

本市でもこの取り組みを参考にストロップ地球温暖化きよせ大作戦の実施を求めます。

市民生活部長 練馬区では、10項目のエコライフチェックを実施し、温暖化防止の行動を実施しています。生活スタイルを少し変えることで、地球に優しいエコライフチェックは、今後関係者と協議をしていきたいと考えています。



日本共産党
原田ひろみ

子どもたちの安全な放課後
を保障する対策を

安全で豊かな放課後をいかに保障するかが問われる中、国が「放課後子どもプラン」を示しました。学童クラブと子ども教室の各々の拡充を図る内容ですが、市での今後の計画や、大規模学童保育の分割の検討を求めます。

教育長 放課後子どもプランは、関係所管と学校で事業内容等を検討する準備会を立ち上げ、その中で検討を進めていきたいと考えています。大規模学童の分割は、現状を見守ることで対応したいと思えます。

障害者自立支援法の
応益負担の抜本的見直しを
障がい者の自立を阻害する自立支援法を推進してきた自

民・公明党が、利用者の負担軽減を図ると合意しました。今こそ「応益負担」の撤回が必要です。市長はこの立場

で国に意見を上げ、独自にも負担軽減を図るべきです。

健康福祉部長 全国市長会の重点要望の中で、自立支援給付及び地域生活支援事業について、十分な財政措置を講じること、利用者負担軽減制度の適用等、一層の軽減措置を講じることということで、要望させていただいています。

社会事業大学前バス停付近
の歩道拡幅を

竹丘の社会事業大学前バス停のバスベイと歩道を広げるために行われている東京病院との協議の経過を伺います。また、緑陰通りとの交差点の歩道も大変狭く、車椅子や歩行者から危ないとの声が絶えませんが、拡幅を求めます。

建設部長 防火貯水槽の廃棄や、駐車スペースの課題、また、用地は自治会の共有であることから、諸問題を自治会総会にお諮りいただき、承認をいただくことができましたら拡幅整備していきたいと考えています。

